

# Eastspring Asia Now

Vol.4

アドハー “インドのマイナンバー”

eastspring  
investments

## 11億人のマイナンバー制度 「アドハー」の浸透

- ▶ アドハー (Aadhaar、ヒンディー語で「基盤」の意味) は、国民ID制度 (国民総背番号制) のことで、2009年に補助金の給付を適正化する狙いでインド政府が立ち上げたプロジェクトです。親指の指紋および目の虹彩のスキャンに基づいて、全ての国民に固有のID番号 (12ケタ) を付与する計画です。2017年2月時点ですでに約11.1億人が登録しているとされ、世界最大の生体認証システムとなっています。
- ▶ インドは農村人口が多く、燃料、食料、肥料などの補助金を支給する際にアドハーの活用が始まっています。本人確認を行うには、まず固有ID番号を提示して指紋か虹彩の認証を行います。そして、その内容がデータベースに格納されている顔写真や住所などの情報と照合されます。データベースは銀行取引明細、診療記録、職歴、納税申告などの個人データとリンクできるように対応が進んでいます。
- ▶ インドでは、戸籍制度が確立していないため、銀行口座の開設や保険の加入に必要な自分の身元を証明する手段が限定されていました。アドハーのデータベースへは、政府だけでなく民間企業もアクセス可能で、今では携帯電話販売店や保険会社、銀行などにアドハーの読み取り機が置かれています。アドハーの浸透により、携帯電話の普及や銀行口座の開設が急速に進んでいます。
- ▶ モディ首相の掲げる「国民皆銀行口座プロジェクト (全国民に銀行口座を開設させる計画)」や「高額紙幣刷新」と相まって、キャッシュレス化、インド経済の近代化を加速させることが期待されています。

### <アドハーを活用した小麦の支給風景>

#### 「公務員による給付金の着服」

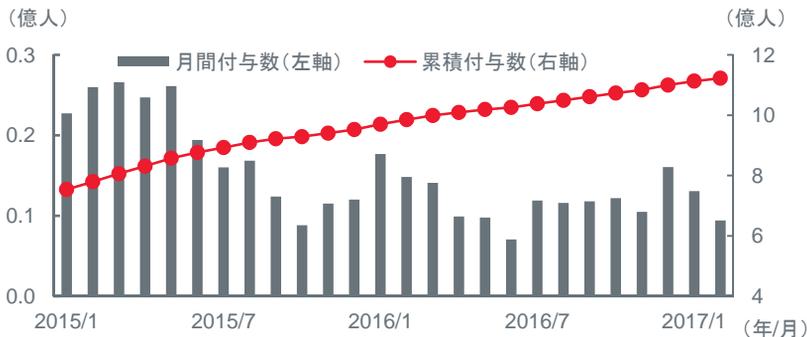
個人への補助金\*給付過程で公務員が毎年、総計数十億ルピーを着服していたとされています。

アドハーの活用で着服を免れた金額は、これまでに約50億米ドル程度と政府ではみえています。

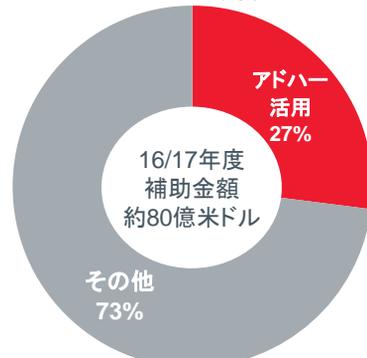


(写真: CLSA)

#### アドハー付与数の推移 (2015年1月～2017年2月)



#### 補助金直接支払制度\*におけるアドハー活用実績 (2016/17年度)



出所: CLSAおよび各種報道資料に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。\*貧困層を対象に各種補助金を受益者の銀行口座に直接振り込む制度

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

#### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社は関係がありません。